

会議録

1. 会議名 喬木村リニア中央新幹線対策委員会（第3回）
2. 開催日時 平成29年6月2日（金） 19時00分から20時00分
3. 開催場所 喬木村防災センター2階
4. 喬木村リニア中央新幹線対策委員
市瀬直史、小澤 博、森谷博之、昼神二三男、木下温司、後藤章人、市村富夫
横前 豊、下岡幸文、矢澤治俊、中森高茂、仲田和文、市瀬健二、栗澤武志
市瀬悦孝、松澤豊実、舟登秀一郎、仲田正幸、下平寛志、砂場基市、山越幸雄
松島憲司、小山正志、松島淑宜、牧野秀樹
欠席者：藤本芳男、吉川文人、鞍馬義之

役場

佐藤副村長、井澤課長、瀧浪係長、國見主事

5. 協議内容（公開）
 - （1）喬木村村内における進捗状況報告
 - ・リニア本線工事
 - ・ガイドウェイヤード
 - ・代替地登録制度
 - （2）各地区・各団体からの課題等報告
 - （3）公開質問内容検討
 - （4）今後の予定
6. 非公開の理由（会議を非公開とした場合）

—
7. 傍聴人 6人
8. 委員会の概要
 - （1）開会
 - （2）挨拶 委員長・村長
 - （3）委員紹介

- (4) 協議内容
上記のとおり
- (5) その他
- (6) 閉会

9. 会議録

(1) 喬木村村内における進捗状況報告・・・事務局より説明

- ・リニア本線工事
- ・ガイドウェイヤード
- ・代替地登録制度

※質疑等無し

(2) 各地区・各団体からの課題等報告

【村議会議員・阿島リニア対策協議会会長 中森高茂委員】

①道路付替・新設道路について

- ・袋地対策のための取り付け道路の計画については、地権者からのご意見が色々と有り協議は難航しております。袋地解消のための土地は、土地提供者の理解が得られなければ工事の進展はありませんが、袋地の対策が進まなくてもリニア本体工事は進んで行くことになることを地権者と交渉を重ねていく中で理解が得られてきたと思われま

す。土地の移転、家屋の移転は、個人のプライバシーに拘わるところがありますので詳細なことは差し控えさせていただきますが、新設する村道①は、側溝も含め5mの道路幅で計画されていますが、更に広くしてもらいたいという意見をいただいています。道路幅を広くすることで、どのようなメリットがあるのか関係各位の皆様の意見を集約してまいりたいと考えていますが、6月選挙が終わり次第進めてまいります。遅れていることに対してお詫び申し上げますところであります。

②大気環境測定車について

- ・大気環境測定車の調査を今年9月7日から10月11日まで実施することになるため、コミュニティ消防センターの駐車場を借りて実施することを地元にもご理解をいただきたいと思っています。

③代替地登録制度について

- ・代替地登録制度については、3月議会一般質問でもお願いしましたが、対策協議会に加入していない方に対しても平等な情報開示をお願いします。

また、代替地登録制度を十分理解できていない方がいますので、そういった方に向けて制度の詳細について説明をしていただくようお願いします。

④今後の対応について

- ・日照障害、壬生沢川、騒音問題、工事中の交通安全対策等さまざまな問題に対し、現在、対策協議会の部会が開催されていない状況であるため、6月選挙が終わり次第、各部長さん、副部長さんと相談しながら定期的に部会を開催していきたいと考えています。

【村議会議員・堰下地権者協議会会長 下岡幸文委員】

カイドウェイヤード課題について

- ・ガイドウェイヤードの操業計画、資機材や原材料の搬入ルート、ガイドウェイの運搬ルート、ガイドウェイの製作量等の詳細はまだ示されていません。詳細が明らかとなった時点で、交通対策、騒音対策等の課題が出てくると思われます。
- ・ガイドウェイヤードエリア周辺の宅地、商業地への影響や養護学校の生徒の通学路の安全確保が心配されます。
- ・ヤード内の排水計画は、竜東井へ放流せず、直接天竜川に排水する計画であるので、その点については課題をクリアしたと認識しています。

【教育委員長 市瀬悦孝委員】

- ・特段ご意見はございません。

【交通安全協会長 松澤豊実委員】

- ・工事期間中の大型車両の運搬ルートが明らかとなっていないが、子供達の通学路等の安全確保については、大型車両の運搬ルートが確定した時点で注意を促していきたいと思います。

【阿島区長 舟登秀一郎委員】

- ・リニアの開通後は、阿島区が喬木村の東の玄関口となるため、阿島区選出の村会議員の皆さんと共に連携を取りながら今後の課題について検討してまいりたいと考えています。

【小川区長 仲田正幸委員】

- ・リニアについて、特段話し合いを持っていませんが、今後、ガイドウェイ事業やリニア本線工事の詳細が明らかとなり問題点があれば、課題について協議していきたいと考えます。

【北自治会長 下平寛志委員】

- ・ J R 東海の見解では、『早急に協議する』『地元団体と協議をする』としているが、何をどのように協議するのか、具体的にいつ行うのかが見えないため不安な面を工事と運用時の2つに分け、それぞれに考えられる事項を別表にまとめてみました。

①代替地登録制度について

- ・ 移転に関しては、移転が必要な方はどこに移転したら良いのか。北地区に住み続けたいけど、どうすれば良いのか心配をしています。代替地登録制度の情報開示がなされていないということで焦りを感じています。出来れば早く情報の開示をしていただき、移転先をどこに、どのようにして検討していけば良いのか分かるようにしてもらいたいです。

②道路新設について

- ・ 道路に関しては、阿島北リニア対策協議会から話があったとおりです。

③井水について

- ・ 井水に関しては、農業に支障のないように行っていただきたい。

④工事中の自然環境・交通・生活環境の対策について

- ・ 自然環境の大气、騒音、振動、電波、水質、地下水、水枯れについて、具体的な対策を明らかにしていただきたいです。大气については今年度調査を行うことの説明がありましたが、騒音等については、どこまでの範囲が影響するのか、具体的な調査をどのように行うのか説明をいただきたいです。交通に関しては、車輛台数やルートはどのようになるのか説明をいただきたいです。通学路の安全対策について、登校時は、だいたい同時間帯で登校しているが、下校時は時間が不規則となるため、どのような通学路の完全対策が行われるのか不安を感じています。何トン車が通行するのか不明であるが、道路の劣化が早くなるのでは無いかという不安も感じます。安全対策は、当然してもらわなければ困ることです。生活環境に関しては、排水、落下対策、廃土について心配されるところであります。

⑤運用時の環境・補償・協定等について

- ・ 工事完了後に、環境調査をどこで行うのか、調査期間はどれくらいなのかといった説明をしていただきたいです。生活環境に関して、防音防災フードの設置位置、落下物の対策、排水場所等、具体的な対策について説明いただきたいです。補償、協定等については、個人的な交渉となると思われますので自治会としては観入していけないのではないかと考えています。北地区の心配としては、リニア本線によって南北に分断されることで、将来に不安を感じています。

【町副自治会長 砂場基市委員】

- ・月曜日（6月5日）に町自治会の会合があるため、リニアに関する課題等について話し合い、次回の委員会で報告していきたいです。

【南自治会長 山越幸雄委員】

- ・南自治会では、リニアに関する課題について協議を行っていないが、南地区としてはリニア本線工事、堰下ガイドウェイ事業で、生活道路として使用している竜東一貫道路への支障を心配します。
どのくらいの工事用車両の台数、通行ルートが明らかになった時点で課題について協議を行っていきたいと考えます。

【馬場自治会長 松島憲司委員】

- ・今後、ガイドウェイ事業やリニア本線工事の詳細が明らかとなり、問題点等があれば、課題等について協議を行っていきたいと考えます。

【北保護者会長 小山正志委員】

- ・工事用車両のルート、通行台数が明らかになり、子供達の通園に影響を与えるのであれば、安全を第一に考え通園時間帯は、工事用車両の通行を規制することをお願いします。

【中央保育園保護者会長 松島淑宜委員】

- ・5月23日に3園役員総会を開催し、リニアに関して課題・懸念・心配事等について意見交換を行いました。大型車両の台数やルート、運行時間、安全対策はどうかといった心配事やJR東海とリニア工事について約束事を交わすようにした方が良いという意見が出されました。

【第一小学校PTA会長 牧野秀樹委員】

- ・工事自体や大型工事車両の通行に伴う粉じん等の発生及び車両通行に伴う騒音等による健康被害は想定されているでしょうか。また、これに関してどのような対策をとられるのか説明をいただきたいです。
- ・見解として示されている交通安全対策が十分機能していないとした場合、新たな要望を酌み取りの仕組みはどのように構築されるのか説明をいただきたいです。

【農業委員会会長 栗澤武志委員】

- ・農業委員会に対して発生するリニアの事柄について対応していきます。

(3) 公開質問内容検討・・・事務局より案を説明。

①日照阻害

- ・国の指針に基づき、リニア中央新幹線事業で日照阻害の影響を受ける住宅や農作物、太陽光発電等すべての補償内容と補償時期について明らかにすること。
- ・リニア高架橋下にどのような施設が整備されるのかによって、日照阻害を受ける範囲に差が生じるため、高架橋下の施設を明らかにすると共に日照阻害の具体的なシミュレーションを用いて説明すること。

②壬生沢川の排水対策

- ・村境を流れる壬生沢川は、河川断面も小さく、台風等自然災害の脅威に常に晒されていることから、豊丘村を通過する長大トンネルの工事排水については、壬生沢川に放流しないことの確約と、代替排水路の整備計画を早急に示すこと。

③防音防災フードと防音壁

- ・明かり区間の環境対策工として、沿線市町村の状況を踏まえ、線路を半円状のコンクリート製の屋根で覆う防音防災フードと線路の両側に設ける防音壁の最終的な設置位置について早急に協議すること。

④地下水源の代替

- ・工事着手前、工事中、工事終了後において、地下水の水位や水質に影響が出た場合は、早急な応急対策、恒久対策を実施すること。特に、地上区間における高架橋等の基礎工事で、村営水道水源である田中下水源、堰下水源に影響が出た場合は、即時対応すると共にその方法についてあらかじめ協議をすること。

⑤工事用車両

- ・リニア関連工事に伴う工事用車両の通行は、生活環境に大きな影響があることから、村内の運行ルート、安全対策、運行時間、環境対策、舗装修繕等について計画を明らかにすること。

⑥発生土の活用

- ・リニア発生土を活用し埋立を行う、ガイドウェイ製作・保管ヤードとリニア本線に係る工場移転先の造成地について、活用する発生土の搬出時期や運搬ルート、造成方法等について計画を明らかにすること。

⑦落下物の安全管理

- ・緩衝帯を4mとしているが、高架橋など構造物からの落雪、落氷、ボルト等の落下物の恐れがあることから、高架橋下の村道との交差部分や利用可能な部分の安全対策を明らかにすること。

⑧事業用地の残地

- ・面積や形状が変更となり、損失補償の対象となる土地の整理と補償内容について明らかにすること。
- ・高架橋下に整備する施設によって、事業用地の追加取得が必要となるか明らかにする

こと。

⑨発生土置き場の運搬ルート

- ・沿線市町村の発生土置き場の運搬車両が、村内を通過することは、生活環境の懸念が大きいため、豊丘村及び飯田市に予定している発生土置き場の運搬ルート計画について説明すること。

質疑応答等

小川区長 仲田正幸委員

→⑤工事用車輛の質問内容に、通行台数について項目の追加をお願いしたい。

回答（事務局）

→通行台数についても項目を追加いたします。

説明した内容は、今後JR東海に対して公開質問をしていく内容のたたき台でありますので、先に報告されました各地区・各団体からの課題等を取りまとめて、次回のリニア対策委員会の際に具体的な公開質問内容について委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。

（４）今後の予定

日時：6月23日（金）19：30～

場所：防災センター2階 会議室